

■西尾末広 労働運動家。職工組合以降、社会民衆党、社会大衆党、同盟、社会党、民社党と、組織結成主導の生涯。

にしおすえひろ

足尾鉦毒始・1891＝ 香川県女木島で雑貨商の末子に生まれる。

日清戦争始・1894＝ 3歳：

ピア/国産化・1900＝ 9歳：

日露戦争始・1904＝13歳：高等小学校を中退し、大阪砲兵工廠旋盤見習工をはじめに、

日露戦争終・1905＝14歳：

伊藤博文暗殺1909＝18歳：

明治天皇没・1912＝21歳： 町工場を転々とするうちに、友愛会を知り、

21ヶ条要求・1915＝24歳： 住友鋳鋼場で友愛会に加入したが、あき足らず、

民本主義・1916＝25歳： 職工のみによる労働組合をめざして職工組合期成同志会を結成するも、

ロシア革命・1917＝26歳： 自然消滅し、

本格政党内閣1918＝27歳：

ベルリン条約・1919＝28歳： 同志と離れて友愛会に復帰、

大暴落・・・1920＝29歳： 大阪連合会主務に就任、

原敬首相暗殺1921＝30歳： 大阪電灯、藤永田造船所など関西の大労働争議を指導して名をはせる。

護憲三派圧勝1924＝33歳： 友愛会の発展した総同盟大阪連合会常任を経て、加藤勘十に代わって総同盟主事に就任し、左派除名を断行。

反共主義、労働組合主義の立場を明確にして、

日本時代始・1926＝35歳： *社会民衆党を結成。

金融恐慌・・・1927＝36歳：

共産党事件・1928＝37歳： *衆議院議員初当選(以降当選15回)。

満州事変・・・1931＝

五一五事件・1932＝41歳： 社会大衆党を結成。

二二六事件・1936＝45歳： 全日本労働総同盟を結成。

日中戦争始・1937＝46歳：

健保+総動員 1938＝47歳： 衆議院で「スターリンの如くに」と政府激励演説、問題化して議員除名となる。

日米開戦・・・1941＝50歳：

戦時下の翼賛選挙でも非推薦で立候補し、当選。

敗戦・・・1945＝54歳： 戦後、松岡駒吉らと日本社会党を結成。

新憲法公布・1946＝55歳： 日本社会党書記長、

新憲法施行・1947＝56歳： 片山哲内閣の官房長官を経て、

極東裁判判決・1948＝57歳： 芦田均内閣の副総理となるが、昭電疑獄事件で辞職、党を除名される。

独立回復・・・1951＝60歳：

マーラー事件・1952＝61歳： 右派社会党に復党し、国民政党内閣を主張する。

自衛隊発足・1954＝63歳：

日米安全保障条約改定問題で党規律違反として、左派だけでけん責処分を可決したのを機に、
安保闘争・・・1960＝69歳： *民主社会党を結成、委員長となる。

TV宇宙中継始1963＝72歳：

美濃部都知事1967＝76歳： 委員長を辞任して顧問となり、

日中国交回復1972＝81歳： *政界を引退。

・・・1981＝90歳： 没した。